

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873600369
法人名	株式会社 村上工務店
事業所名	グループホーム やまと
所在地	愛媛県大洲市長浜町下須戒 1 3 番地 8
自己評価作成日	平成21年11月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

介護理念「明るく・楽しく・穏やかに」が日々の支援の中で展開できるように、アイデアを出し合ったり工夫を重ねています。またそのために職員の知識、技術の向上に努めています。
地域環境に恵まれ、小学校や保育所との交流、公民館活動の参加時も近隣住民の方の暖かい協力があります。
おかげ様で利用者の方の生活にも潤いが出てきたように感じます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用者個々に誕生日には、職員とともにいきたいところに出かけられるよう支援されている。生まれた所、自分の住んでいた所、以前よく行っていた店に出かけ、食事をされたり、記念撮影等をされている。
職員個別に管理者との交換するノートを作り、業務やケア、精神面のことや意見・要望を書いてやり取りをされ、管理者は職員を細やかにサポートされている。職員は、管理者のサポートで「やる気・勉強意欲が出てきた」と話しておられた。職員が外部研修を受講する際には、法人が費用面等でも協力をされている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム やまと

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

畑中 智子

評価完了日

21 年 11 月 1 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			「明るく、楽しく、穏やかに」を理念とし、統一した対応が出来るようミーティングや勉強会で話し合いを重ね、実践に繋がるよう努力している。	
			(外部評価)	
			居間には法人代表者が手書きした理念が掛けられてあり、廊下や事務室にも理念を掲示されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			地元自治会に入り、地域からも行事参加の声かけを頂いている。また小学校、保育所との交流も続けている。	
			(外部評価)	
			小学校や保育園が近隣にあり、小学生の総合学習の授業で十数名の児童が来てくれている。利用者と1対1で交流する時間を設けてくれ「昔の遊び」「塗り絵」を一緒に楽しまれ交流された。管理者は、事前に小学校を訪問し、ホームのお年寄りの様子や来られる際の注意事項等を説明された。運動会の見学や、散歩の途中で保育園や小学校で活動する子ども達と声を掛け合う等、利用者は触れ合うことを楽しみにされている。	管理者は、地域の方に「気軽に来ていただきたい」と話しておられた。9月から事業所で勉強会を始めており、民生委員の方に「興味あるテーマがあったらいつでも参加ください」とお誘いしている。今後も地域に認知症のことや事業所のことを知ってもらえるような取り組みを重ねていかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			小学生の総合学習の時間に、認知症について話す機会を頂いたり、少しずつ活動を展開している。「やまとだより」の発行にて施設を理解して頂く一歩としている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 公民館館長、小学校長、地区民生委員の方が構成員となっており、地域交流に向けての取り組みがスムーズになった。そのことで利用者の方の生活に楽しみが増えたりしていると感じる。</p> <p>(外部評価) 小学生との交流から校長先生が会議に参加して下さるようになった。地域行事のことや「出石寺のアジサイがきれいですよ」と外出先のアイデアもいただき、事業所での外出のきっかけにされている。現在のケアについて、メンバーの方から「利用者個々に役割を持ってもらう取り組みで利用者の変化を感じます」と感想をいただいた。</p>	<p>事業所では、会議時、多くの方に参加いただきたいと考えておられる。今後は、会議の開催日を地区の回覧板に載せてもらう等、工夫したいと話しておられた。又、会議の中で、公民館長の方から「認知症について知りたい」との意見もいただいており、認知症や事業所のことの理解を深められるような内容等にも力を入れていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 市の担当者は、運営推進会議にも参加しており必要時には報告、相談をしている。 市が中心となって開催しているサービス担当者会議に、参加、協力している。</p> <p>(外部評価) 市主催の会議に、事例提供をされる等、協力されている。介護相談員の訪問が月1回あり、運営推進会議開催日と重なる日には、会議に参加していただいている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 指定基準を職員全てが正しく理解しているとは言えないが身体拘束をしないケアについて全ての職員は前向きな姿勢で取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 玄関の出入りが分かるようチャイムが設置されている。ご近所から入居されている利用者が、気ままに外出される際にはご家族の協力も得ながら見守り支援されている。2階に居間があり、利用者は、ご自分でエレベーターを操作される方もある。管理者は、職員に日々のケアの中で、拘束についての知識を話しておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 業務カンファレンスを月1回全員参加で行っている。業務内容の改善等の意見提案を出し合い検討しつつ進めている。 職員の個別面談も行っている。	
			(外部評価) 職員個別に管理者との交換するノートを作り、業務やケア、精神面のことや意見・要望を書いてやり取りをされ、管理者は職員を細やかにサポートされている。職員は、管理者のサポートで「やる気・勉強意欲が出てきた」と話しておられた。職員が外部研修を受講する際には、法人が費用面等でも協力をされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 働きやすい環境が整うように職員の意見、質問には耳を傾け出来るだけ早く解決できるように取り組んでいる。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員の個別票を作り経験等を配慮し、研修参加を決めている。また施設内で勉強会を開き認知症介護実践研修の内容を参考にしている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 各種研修に参加する事で交流を図っている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 家族からの聴き取りや、サービスを提供していた事業所と連絡を摂り、安心して過ごせるように対応している。入所後も意識して声掛けを多くし、現状の把握と寂しさを減らす関わりにも努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ケアプランに反映できるように、利用前には必ず要望や困っている事などを聴き取っている。(開始段階だけではなく継続的にホーム側から伺っている。)	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 利用開始時の「その時」はもちろん、この先も踏まえた上で必要な支援が出来るように家族、本人から話を聴いている。入所時から暫らくは充分な観察にて見極めを行っている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 出来るだけ個別に。役割を持って生活して頂いている。職員との関係としても、ある時は人生の先輩として、アドバイスを頂いたりしている。また会話の中から「その時代」の背景を教えて頂くと、ケアの場面で役立つ事が多い。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 認知症の進行による誤解から、関係が崩れたりしないよう現状を説明し仲介している。また家族と共に楽しみ、絆を深める行事を今後は増やして行きたい。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ドライブなどで、自分の家の近所など馴染みの場所に行く機会を作っている。地域行事に出来るだけ、参加し近所の方との会話を仲介したりしている。さらに、普段から意図的に住んでいた所の話、知人の事などを話題に上げている。 (外部評価) 利用者個々に誕生日には、職員とともに行きたいところに出かけられるよう支援されている。生まれた所、自分の住んでいた所、以前よく行っていた店に出かけ、食事をされたり、記念撮影等をされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	
			ゆったりとした時間を作り、皆が雑談をしたりゲームを楽しんだりする中で、利用者同士がお互いを認め合えるような声かけ、仲介をしている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	
			継続的な関わりが、必要な方については関係者(行政・包括支援センター・担当ケアマネ・医療機関など)と相談しつつ、協力できるようにしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	
			利用者本人から、希望や思いを話す事は殆どないが、うまく会話の中から読み取ってはいる。記録に本人の言葉を、なるべくそのまま書き、前後の様子も記録しその内容について検討している。	
			(外部評価)	
			新たにセンター方式の書式を用いて、アセスメントの作成に取り組んでおられるところである。日々の記録には、会話をそのまま記録されたり、しぐさや職員が気付かれたことも記録されている。	事業所では、管理者の交代に際し、新たにアセスメントに力を入れておられる。管理者は「わかること、わからないことシート」等、日々得た情報を蓄積して介護計画に活かしていきたいと話しておられた。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	
			センター方式を使い、アセスメントを行っているが、なかなか把握しにくいところも有る。日々の会話や家族との会話にて、徐々に情報は増えている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	
			個別に2ヶ月間の心身の状況や生活の様子を、日々の記録をもとに整理しカンファレンス等で把握している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人家族が参加する担当者会議は、実現していないが、職員が日々の関わりから要望や、思いを聞き取ったり読み取ったりし代弁しているように思う。</p> <p>(外部評価)</p> <p>3か月を目安に介護計画を見直しされており「病状の進行や身体状況の変化が激しい方については、安定を見計らいつつ」計画を変更されている。日々の記録に、ご本人の会話をそのまま記録されており、2か月分をまとめてカンファレンスで話し合い「生活プラン」を立てておられる。</p>	<p>現状に即した介護計画の作成が期待される。ご本人の求めていることを十分に探り、ご家族やご本人にかかわる人たちとも話し合いながら、計画の作成に取り組んでいかれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の介護記録では、都度気づいた点、利用者が発した言葉と、その状況を記入。カンファレンスでは、記録をもとに2ヶ月ごとに状況を整理した記録で、職員全員で検討している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>必要であれば、他種サービスの利用、相談先の紹介を行っている。(市担当者等と相談しつつ)</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地区民生委員の方の多方面に向けた協力があり「地域の中で生活をする」ことが少しずつ定着しているように思う。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 在宅時からの、かかりつけ医に引き続き受診してい る。 家族が受診する時は、最近の心身の状況をまと めたものを、受診の参考にと情報提供している。	
			(外部評価) 管理者が利用者の受診時に同行して、医師との関係を 築けるようにされている。ご家族が付き添われる際も 事業所での様子を伝えられ、受診後に報告を受けてい る。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) かかりつけ医に相談しつつ、必要に応じ観察の様子を 報告している。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 最近、病院関係者もグループホームが、生活の場 である事が理解されてきたので、情報交換や早期退院に ついても連携がとりやすくなった。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 時期を見て家族に意向を聴いている。その際「ホーム で出来る事できない事」も、十分に説明し理解をして いただいた上で、家族の判断に任せている。都度、大 まかな方向性は出し準備はしている。	
			(外部評価) 事業所を看取りの場所として提供できることをご家族 に説明されている。いざという時には、医師とご家族 と相談して今後のことを決めておられる。事業所 では、ご家族や利用者にも、事業所でできること・でき ないことを伝えておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<p>(自己評価)</p> <p>急変時・事故発生時マニュアルを作り確認している。また実際に発生した後、その一連の流れを職員全体で確認している。 応急手当などの初期対応については、研修に参加し伝達している。</p>	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<p>(自己評価)</p> <p>定期的に避難訓練をいろいろな想定で行い、職員全体で役割を確認している。 今後は地域の消防団との連携が課題。</p> <p>(外部評価)</p> <p>年2回避難訓練をされており、今回は、消防署の方が2階のリビングから車椅子の方々が安全に迅速に避難できる方法を考えてくださった。「抱える」「2人で組み手」「布団でくるんで」の3つの方法や「レスキューシートを使用する方法もある」と教えていただいた。来年度中に、スプリンクラーの設置を予定されている。地域の地震を想定した避難訓練に参加され、玄関から避難所まで地域の人にも協力いただきながら利用者を避難させる訓練も行われた。</p>	<p>建物上、居室が1, 2階にあり夜間時の災害に不安を感じる職員もある。今後、夜間を想定した訓練を実施することを予定されている。管理者は地域の消防団の方が近所に多いので、その方々との連携ができればと考えておられる。利用者、職員の安全と安心に向けた取り組みを重ねていかれてほしい。</p>
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<p>(自己評価)</p> <p>プライバシーに関わる事は、個別に場所・時間に配慮し対応している。 日々の声かけも、声の大小に気をつけ、利用者が他の利用者からも認められるように、配慮した言葉を選んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>1階トイレのカーテンは取り外され、ドアが付けてあった。職員は、利用者のプライバシーにかかわることについてお話しする際には「声を小さくかけること」に気を付けられ、「個室のドアを閉めること」「部屋に入る時は本人に聴いてから」等を気を付けておられる。</p>	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<p>(自己評価)</p> <p>些細な事柄から「選び、決められる」ように必要に応じて(本人の認知力)選択肢(数・内容・言葉)を変えたりしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) まず声かけをし、本人の「今」の意見を尊重し、日々の生活を無理のないように送れるよう支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 自身で服を選べる方には、色合いやデザインを褒めたり、一緒に服を選びながら楽しんでいる。身だしなみに自ら配慮できるように促している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 畑の野菜の成育を楽しみ、収穫やどのように食するかなど、話題も広がり楽しい時間となっている。また、利用者が自らの役割として、積極的に準備・片付けに関わっている。	
			(外部評価) 配食業者から届いた食材の下ごしらえをされている方や食後に洗い物をされる方、食堂のモップがけをされる方も見られた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 「活動表」にて食事・水分摂取量をチェックして、一目で過不足が分かるようにしている。糖尿病の方、肥満傾向にある方の食事の工夫も、カンファレンス等で確認し実施している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食ではないが朝・夕にはそれぞれ歯磨きをしている。必要に応じ仕上げ洗いをして清潔を保持している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄パターンをつかみ、本人に不安のないように、段階を追って紙パンツやおムツを減らし(外し)ている。尿・便意があるうちは、トイレでの排泄を続けられるよう努力している。 (外部評価) 排泄チェック表でパターンを把握し、頻回に訴えのある方は、実際の排泄のあった時間を記録して支援されている。他は活動にお誘いする等、気がまぎれるように働きかけておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 自然に排便できるように、飲食物の工夫や運動の促しもしているが、排泄時の姿勢なども注意して下腹部に力が入りやすいようにしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 決まった時間は無いが、声かけにて希望する時間があれば、そのタイミングで入浴できるようにしている。 (外部評価) 利用者の入浴の希望は現在、夕食前が多く、ご本人の希望に沿って支援されている。ご家族の話題等、楽しくお話ししながら入浴できるよう支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 夜間、良質な睡眠が取れるように、日中の関わりには配慮している。 気持ちよく眠れる為に、光の調整、音にも気を付けている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 「薬説明書」ファイルを作り、職員が何時でも確認できる。薬に変更があれば、暫らく心身の状態の変化について、気をつけて観察し医師に報告している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 職歴・趣味などを活かし、日々の生活の中で活用、展開できる場を増やしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 個別に対応しているが、身体状況からその回数が少ない方もいる。 (個別に外出する時は、職員が1～2名の対応になるので、現状の職員配置では、職員の負担も大きい。職員の熱意に支えられているのが現状。)	
			(外部評価) 散歩や季節に応じて「内子笹祭り」等に出かけたり、近所の方に誘っていただき、イチジクを取りに行かれたこともある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 近隣に店が無く、日常的な支援はできていない。今までのシステムとして、基本的には一旦施設が立て替えているので、必要時に渡しても実感が無い様子。今後の課題。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 季節の便りやプレゼントのお礼など、自筆で送れるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ソファやテーブルの配置を、利用者の状態によって変え、安全に移動が出来たり、一人で静かに過ごせるような場所を探しつつ、空間作りをしている。季節の花を生けたりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>2階の食堂のガラス戸から山並みが眺められる。ちょっと腰をかけられる高さの畳の間があり、敬老会を行う際の踊りの舞台にもなる。壁には紅葉の切り絵が貼られている。事業所の畑は、利用者から種まきや収穫の時期を教えてもらいながら野菜作りをされている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関ホールや窓辺など様々な場所に椅子、ソファを置き一人でゆっくり座ったり、数人で集まったりして過ごせるようにしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>なるべく、在宅で使用していたものを、持ち込んで頂いている。（タンス・ベット・椅子など）壁などには家族と撮った写真等を飾り、身近な人が目に留まるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>孫やひ孫さんが来られた時に写した写真を飾っておられる方や、ご自宅で使っていたベットや長年使っていたタンスを使っている方もある。転倒防止の為、畳を使っている部屋もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>本人にとって、どうすれば分かるのか、どうすれば出来るのかを、状態の変化に合わせ手順、誘導方法を職員全員で話しあい環境づくりをしている。</p>	